

(長野県千曲市) 選挙管理委員会 マニフェスト・シート

選挙期日: 2011/4/10

選挙名: 長野県議会議員一般選挙

■ 目標設定・活動計画、自己評価

事務分類	目標設定・活動計画				自己評価	
	取組内容	目標	期待される効果	目標を達成するための具体的活動	結果	所見
1 投票	投票事務従事者の削減	事務従事者数を前回比35人削減する。	約118万円の経費削減となる。	当日投票受付システムの導入や、投票区ごとの選挙人規模に応じて適正な人数を配置する。	事務従事者数と経費について、いずれも削減目標を達成できた。	今回大幅な人員削減を行ったが、特にトラブルもなく、適正な配置であったと認識している。
2 投票	投票立会人の削減	立会人数を1投票所あたり2人にする。(3人→2人へ。全体では44人の削減)	約47万円の経費削減となる。	立会人数の変更について、区長(立会人内申者)の理解を得るとともに、立会人が急に欠けた場合に備えて、予め控えの者についても選任する。	〃	立会人の削減は、今回が初めてであったが、各投票所の事務主任者からは、選挙事務に特に支障がなかった旨、報告を受けており、今後も継続可能と考えている。
3 開票	開票事務従事者の削減	事務従事者数を前回比35人削減する。	約16万円の経費削減となる。	機能的、効率的な開票事務が行えるよう、各分担ごとに適正な人数を配置する。	〃	開票確定の目標時間はクリアできなかったものの、機能的、効率的に開票事務を進めたことにより、結果的に経費の削減は数万円程度目標を上回った。
	目標時間の設定	80分で確定票(前回比10分短縮)	従事者が共通意識を持って開票事務に当ることにより、早期確定が可能となり、経費の削減につながる。	従事者説明会で目標設定の根拠と達成手法について説明し、目標達成に向けた共通意識を醸成する。	開票確定寸前で不足の事態(トラブル)が発生し、最終的には、目標時間を30分オーバーした。	事務従事者は適正に事務を遂行したと確信している。今回のトラブルは、人為的なものか機械的なものか判然としないが、貴重な教訓として次回選挙に生かしたい。

■ 上記以外の目標設定・活動計画、自己評価

事務分類	目標設定・活動計画				自己評価	
	取組内容	目標	期待される効果	目標を達成するための具体的活動	結果	所見
1						
2						
3						